

大幡小学校区ハートフル・ミーティングの概要

- 1 日時 平成 18 年 8 月 26 日 (土) 午前 9 時 30 分～午前 11 時 30 分
- 2 場所 大幡公民館
- 3 市民参加者 76 名
- 4 会議の概要

(参考資料は別添のとおり)

○安心・安全な生活のできる地域づくりを目指して (教育関連)

質問

大人が人権を尊重するという観点から、子ども達を守るべく施策を講ずることが重要と考えています。

回答

人権を守るという施策に、これからも一生懸命取り組み、お互いが尊重しあえる社会をつくる中で、子ども達をしっかりと育てていくという方向でこれからも頑張っていきたいと思っております。

質問

学校から 10m くらい離れていて、幅 65cm ほどが舗装された農道は、地権者のご理解を得て通らせてもらっているとのことですが、この通学路が非常に狭いので、なんらかの対策を講じてもらいたいと思います。また、学校近くの原島・新島に行く国道 407 号線にかかる歩道橋の昇降口が、車等で非常に危険です。大幡小側のセブンイレブンに出入りする車と子どもとの接触、また、国道 407 号市立女子高側一時停止線のところは、車が止まると歩道橋に登る子どもの歩く場所がありません。西へずらしていただけないかと思っております。

回答

65 センチ幅員の舗装ということですが、近隣の皆さん方のご協力がいただければ、拡幅などの処置をとることになります。学校から国道 407 号まで、スクールゾーンで進入禁止になっているところは、道路と店の境がはっきりしないで非常に通りづらいところだと思います。また、市立女子高のこの道路拡幅が国道 407 号まで行くという想定をしているかどうかを含めて、調べてみます。停止線を下げられるかどうかは警察との協議となります。

質問

国道 407 号の交差点から、学校への道路がかなりカーブをしていて見通しが悪いし、路肩の先は両方が田んぼの中に落ちるような形の通学路です。また、歩道の区別がラインだけなので危険です。子どもの安全を考え、この道路を整備してほしいと思います。

回答

地域から道路改良などの陳情を受けている場合、特に小学校の通学路に指定されているもの等々については、配慮するよう心がけているつもりです。それらを含めて、十分考えさせていただきたいと思っております。しかし、地域の皆さん方からの土地のご提供をいただくという前提がありませんと、拡幅ということもできません。行政と地域の皆さんと連携をとりながら進めさせていただきたいと思っております。

質問

学校教育におけるジェンダーフリー教育が、地域によっては猛威を振るっています。超過激な性教育として知られているらしいです。ジェンダーフリー教育をよく研究し本当に子どものためになるジェンダーフリー教育をしてほしいです。

回答

正しいジェンダーフリー教育をしていきたいと思っております。

質問

キャットというパチンコ屋の駐車場に、また、タイヤ、冷蔵庫などのごみが捨て始められましたが、どうしたらいいのでしょうか。

回答

現場を職員に見させます。特に消防のほうから管理等について所有者に強く申し入れをしているようですので、それを促す対応をとりたいと思っております。

質問

通学路を歩いてみて、いろんな観点から危険箇所を感じています。そういった声を聞いていただける窓口はどこでしょうか。

回答

通学路の指定は、教育委員会が所管です。道路が危険だということについては、道路課、維持課、また、安心安全課がありますので、どちらでも結構ですから、気付いた点があったらお話しください。学校を通してでも結構です。

質問

市立女子高が1年半後に閉校になります。その建物と土地の活用はどうなさるのでしょうか。

回答

市立女子高の今後の活用方法については、基本的には、学校があったということ、また、財政的な負担を考え、私立中高一貫校を受け入れたいということで、現在、立正大学と協議を進めています。市内には私立の高校がありませんので、県立の刺激になるような高校を受け入れたいと考えております。

質問

不調に終わった場合のお考えはありますか。速やかに活用してほしいです。

回答

その時には、その後の活用について別途考えていかなければならないと思います。

質問

熊谷も病院、小児科が足りないと聞いているので、医歯系大学という方向もあるのではないのでしょうか。

回答

医学系の大学を拒むことはありませんが、規模的にきついということと、大学の場合は、認可の関係でハードルが高いのかなという感じがします。

○安心・安全な生活のできる地域づくりを目指して（防災・防犯関連）

質問

自主防災組織結成状況一覧に大幡はありませんが、どのような理由からでしょうか。

回答

今までは、9月1日の防災訓練に参加していただいた自治会に、翌年度防災組織をつくってくれるようお願いしてきた経緯があります。大幡の皆さんには、そういった機会がなかったということです。防災を考えると、地域の方にいろいろとやっていただくことが大切だろうと考えまして、今年から9月1日に大規模な防災訓練はやめて、その費用を自主防災組織の結成費用に充てることとし、防災組織を結成してくださいという要望を今年から始めました。

質問

私の小さい頃は、各地域に駐在所がありました。今、大幡地区の管轄は、17号沿いの成田の上之交番です。自主防災には限界があると思います。大幡地区にはどんどん家ができていますので、この地域に交番か駐在所を作ったらいいのではないのでしょうか。

回答

埼玉県では、ここ数年、警察官の数は全体的には増えてきましたけれども、まだまだ足りないという状況の中で、現在ある交番・駐在所を維持するのが、非常に困難になりまして、昨年からは24時間体制を取れない駐在所・交番を廃止する方向にあります。市内でも、銀座交番の廃止、大里地域の市田、吉見の2つの駐在所を廃止し、旧役場のあたりに新たな交番を作ります。ですから、大幡や大原に新たな交番を設置するというのはちょっと難しいと思います。ただ、犯罪抑止のため、住宅が密集している地域等々については、パトカーによるパトロールを重点的にやっていただくようお願いをしております。

質問

昔は、自転車で駐在さんが回ってきて、家庭状況を把握していました。交番を減らしたから、こういう時代になってしまったのではないのでしょうか。

回答

いろんな見方はあると思いますが、今は個人情報の面でそういったことも難しくなっていると思います。警察には、そういった意見があったことは伝ええます。

質問

公務員不祥事や警察官不祥事は、れっきとした犯罪であって、ここにもっと目を向けて、強く監視の目を持って、批判的対応を市民が行っていかなければ、いけないと思いますが、いかがでしょうか。

回答

私どもは、適切な情報公開のもと、こうした形で市民の皆さんのいろんな意見をお聞きし、行政に活かしていくという新たな視点、手法の中で、われわれに対する理解を深めていただくことが、いい意味で市民の皆さんに行政・公務員を監視していただくことの一つの材料になるのではないかと考えています。

質問

大幡には自主防災組織がありません。自主防災組織の立ち上げに取り組もうという場合、だれが先頭に立ってやるのでしょうか。

回答

市内の例では、ほとんど自治会にお願いして、組織を立ち上げていただいています。例えば、地域の中に消防の経験のある方ですとか防災関係、災害復旧等々に参加をされていた方が必ずいらっしゃいますので、そういった方をアドバイザーとして迎え入れながら、組織を作っていただいております。

質問

市長の目標の中に、学童クラブの充実をすぐに始めますということが謳ってあります。子どもたちが夜遅く外出する度合いが非常に強くなっていることを心配しています。保育園などでは、延長保育ということで夜8、9時まで子どもの面倒を一生懸命見てくれるので、働いているおとうさん、おかあさんは、感謝していると思います。小学校に行ったら、とたんにそうしたことがなくなります。家に帰ったら、つまらないということでふらふらとまちに出て行けば、大人だってろくな事はしないと思います。小学校、中学校に行った場合のサポートを一生懸命考えていかないと、ますます悪くなっていくんじゃないかと思います。

回答

PTA やおやじの会などで、いろんな目で子ども達が健やかに育つように、目的もなく遊んでいる子どもにちょっと声をかけてやるとか、そういったことが必要だろうと思っています。地域の皆さんには自分の子どもと同じような目でこれからも見ていただければありがたいと思っています。

質問

妻沼線の跡地について、この先の計画を教えてください。また、一部、若い人の溜まり場になっているようなところもあります。

回答

国道 407 号まで抜けることになっている第 2 北大通りの整備をして、左右に振り分けられるようになってから、東武線の跡地を通れるようにしたいと思っています。そこで、今年度の予算で、ゆうえんの所から先、国道 407 号までの数百メートルの区間の用地測量する予算を組みました。道路として使う予定です。

バイパスの下などは、雨宿りなどの溜まり場になっている部分がありますが、それは十分承知しております。見回り等で対応します。

質問

連合自治会長の代理は誰が行っているのでしょうか。

会場から

事務取り扱いは、代の自治会長が代行しています。

市長のまとめ

多くの方々から、いろんな意見をいただきました。すぐに対応できるもの、あるいはある程度長い期間を見なければできないもの、いろいろあります。特に通学路の課題等々につきましてお話をいただきました。皆さんと一緒に考えながら、いい方向が出せるように努力していきたいと思っています。安心安全はまちのキーワードです。人口が減少していく中で、いかに安全で安心なまちかということが、これから定住する人口を着実に増やしていくための要件の一つだと思っています。自主防災組織につきましても、皆さん方のご協力がいただければ、ありがたいと思っています。来年 5 月、利根川で大規模な水防訓練を計画しております。時期が来ましたら、市報等で PR しますので、実際大きな被害がでたときには、こういう状況になるんだということを皆さんに見ていただくのもいいことかなと思っています。本日は、貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。